

安倍さん、寝言は寝てからにして下さい。。

先日のIOC総会における東京プレゼンテーションの後にあった質疑応答でIOCのゲルハルト・ハイベルク(Gerhard Heiberg)委員の

福島でいろいろなことがメディアで言われているが、東京に影響がないとなぜ言えるのか？技術的に話してほしい

という質問に対する安倍首相の答えをご覧になった方も多いでしょう。長いですが、全文再録します（私が文字におこしました）。

「まず結論から申し上げます、全く問題ないということでもあります。どうか新聞のヘッドラインではなくて、事実を見ていただきたいと思います。汚染水による影響は

(ここで通訳の問題があり一時中断、改めて)

まず結論から申し上げますと、全く問題ありません。どうかヘッドラインではなく、事実を見ていただきたいと思います。汚染水による影響は福島第一原発の港湾内の0.3平方キロメートル範囲内の中で完全にブロックされています。福島の近海で私たちはモニタリングをおこなっています。その結果、数値は最大でもWHOの飲料水の水質ガイドラインの500分の1であります。これが事実です。そして我が国の食品や水の安全基準は世界でも最も厳しい基準であります。食品や水からの被ばく量は日本どの地域においてもこの基準の100分の1であります。つまり健康問題については、今までも、現在も、そして将来も全く問題ない、ということをお約束いたします。さらに完全に問題のないものにするために抜本解決に向けたプログラムを、私が責任を持って決定し、既に着手をしております。実行していく、そのことをはっきりとお約束を申し上げたいと思います。

私はかつて被災地を訪問した際に1人の少年と会いました。彼はその被災地を訪れた外国人のサッカー選手からもらったボールを、宝物のように自慢げに私にそれを示しました。そのとき私はこう思ったんです。このボールは彼にとって単なるボールではない、単なる宝物ではないんです。正にこのボールは彼にとって希望なんです。未来への希望です。今この瞬間にも福島の青空のもと、子供たちはサッカーボールを蹴りながら復興、そして未来をみつめています。私は日本の総理大臣として彼らの安全と未来に責任を持っています。そして日本にやってくるアスリートの皆さんにも責任を持っている。必ずその責任を完全に果たしていくということをお約束申し上げます。ありがとうございました。」

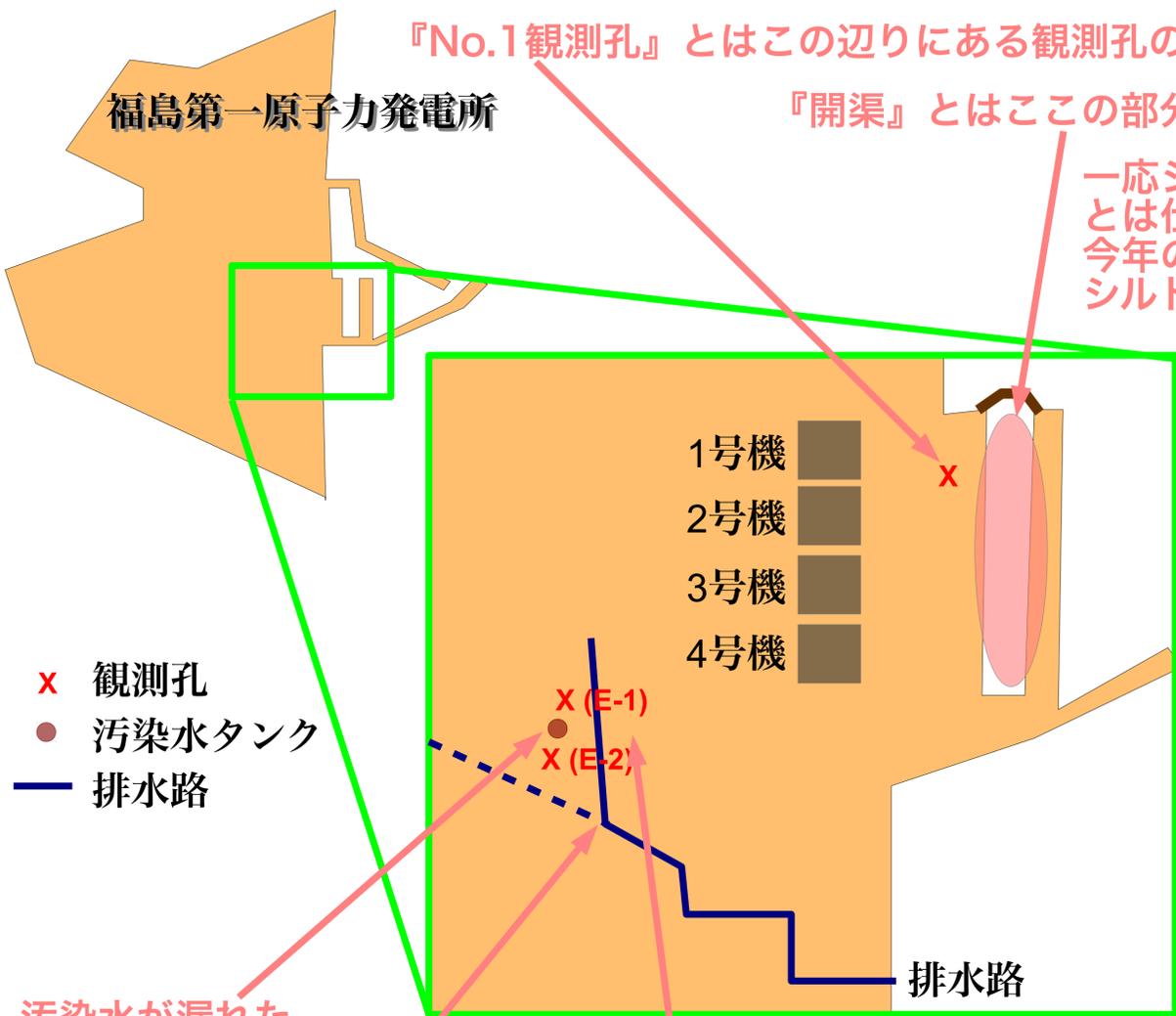
聞いた後、しばし呆然。
「そうか、汚染水は完全ブロックされるようになったんだ」
じゃあ東電から喜びの発表がすぐにあるはずだね」
と思ったり。。当然そんな発表ありませんでしたが。。
この人は福島の漁師さん達に同じ事を言えるんでしょうか？

汚染水による影響を港湾内0.3平方キロメートル範囲で完全にブロック??
 以下の「事実」に対してどうお考えなのでしょう。
 新聞のヘッドラインは信じるな、なんておっしゃってますので
 全て東電の生発表資料から。。

その1. 2013年7月22日 東電発表

『海側地下水および海水中放射性物質濃度上昇問題の現状と対策』

「本年5月以降にNo.1観測孔で確認された汚染を含む地下水の開渠内との
 行き来が考えられるため、対策を実施中」



『No.1観測孔』とはこの辺りにある観測孔のこと

『開渠』とはこの部分の海のこと

一応シルトフェンスというもので外の海とは仕切られていますが
 今年の4月8日には5,6号機側のシルトフェンスが切断したりしてます。

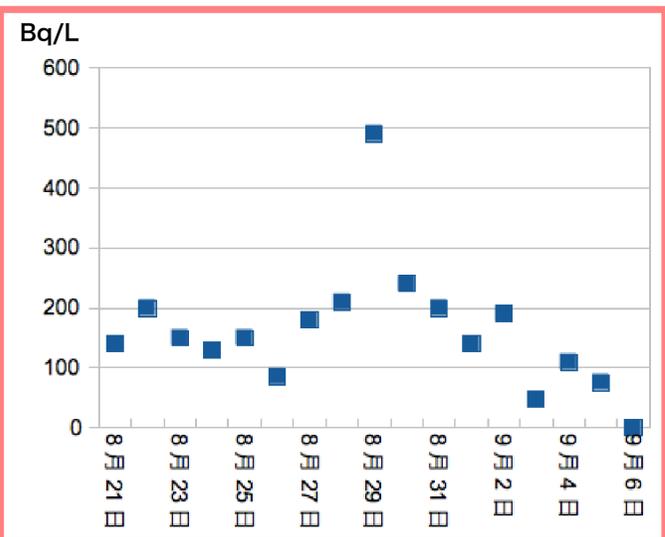
この文書では

- No.1観測孔の地下水は高濃度に汚染されている
- この地下水水位の変動が潮位変動の影響を受けている
- ということは汚染された地下水が海側と行き来しているかもしれない
- 10月下旬を目処に詳細解析する

という内容が述べられています。
 さらに地下水の水位は海面よりも高いという結果も出ています。

汚染水が漏れたタンクはこの辺り

排水路のこの部分で測定された全ベータ



その2. 2013年8月21日 東電発表

『H4タンクエリアにおける漏えいについて』

「水量は、約300m3」
 「近傍の排水路を経由した外部(海洋)への漏えい等については今後も継続調査」

その3. 2013年9月5, 10, 11日 東電発表

『福島第一原子力発電所構内H4エリアのタンクにおける水漏れについて (続報30, 36, 37)』

- 9月5日採取分：観測孔E-2で全ベータ650Bq/L
- 9月8日採取分：観測孔E-1で全ベータ3,200Bq/L、トリチウム4,200Bq/L
- 9月9日採取分：観測孔E-1で全ベータ1,900Bq/L、トリチウム29,000Bq/L
- 9月10日採取分：観測孔E-1で全ベータ2,000Bq/L、トリチウム64,000Bq/L

「今回の測定結果により、
 雨水などで希釈された汚染水が土壤に浸透し、
 地下水に到達した可能性がある」(9/5続報30より)

参考資料)

- 『海側地下水および海水中放射性物質濃度上昇問題の現状と対策』
http://www.tepco.co.jp/nu/fukushima-np/handouts/2013/images/handouts_130722_08-j.pdf
- 『H4タンクエリアにおける漏えいについて』
http://www.tepco.co.jp/nu/fukushima-np/handouts/2013/images/handouts_130821_12-j.pdf
- 報道関係各社一斉メール 『福島第一原子力発電所 シルトフェンスの切断について』
http://www.tepco.co.jp/cc/press/2013/1226177_5117.html
- 報道関係各社一斉メール 『福島第一原子力発電所構内H4エリアのタンクにおける水漏れについて (続報30)』
http://www.tepco.co.jp/cc/press/2013/1230317_5117.html
- 報道関係各社一斉メール 『福島第一原子力発電所構内H4エリアのタンクにおける水漏れについて (続報36)』
http://www.tepco.co.jp/cc/press/2013/1230426_5117.html
- 報道関係各社一斉メール 『福島第一原子力発電所構内H4エリアのタンクにおける水漏れについて (続報37)』
http://www.tepco.co.jp/cc/press/2013/1230470_5117.html
- 排水路の全ベータデータは報道配布資料アーカイブから 『福島第一原子力発電所構内H4エリアのタンクにおける水漏れに関するサンプリング結果』の各日分
<http://www.tepco.co.jp/nu/fukushima-np/handouts/2013/index-j.html>